



## 13 高等学校学習指導要領抜粋

### ※美術との関係のみ

#### 第1章

ここには、総則が書かれています。

#### 第2章

「1単位時間を50分とし、35単位時間の授業を1単位として計算することを標準とする。」と書かれています。

各学科に共通する各教科が書かれています。

### 第7節 芸術

#### ● 第1款 目標

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

#### ● 第2款 各科目

##### ■ 第4 美術Ⅰ

美術Ⅰ→美術Ⅱ→美術Ⅲと履修していきます。

##### 1 目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

##### ■ 第5 美術Ⅱ

##### 1 目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

##### ■ 第6 美術Ⅲ

##### 1 目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

##### ■ 第7 工芸Ⅰ

工芸Ⅰ→工芸Ⅱ→工芸Ⅲと履修していきます。

##### 1 目標

工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

## ■第8 工芸Ⅱ

### 1 目標

工芸の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。

## ■第9 工芸Ⅲ

### 1 目標

工芸の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と工芸の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな工芸の能力を高める。

## 第3章

主として専門学科において開設される各教科。

## 第12節 美術

### ●第1款 目標

美術に関する専門的な学習を通して、美的体験を豊かにし、感性を磨き、創造的な表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てる。

### ●第2款 各科目

#### ■第1 美術概論

##### 1 目標

美術の理論的学習を通して、芸術としての美術の意義を理解し、表現と鑑賞の基礎となる能力と態度を高める。

#### ■第2 美術史

##### 1 目標

美術の変遷の学習を通して、文化遺産や美術文化についての理解を深め、伝統と文化を尊重する態度と新たな美術文化を創造していく基礎となる能力を高める。

#### ■第3 素描

##### 1 目標

対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。

#### ■第4 構成

##### 1 目標

造形的な創造活動の基本となる諸要素の理解を深め、感性や造形感覚と創造的な構成の能力を高める。

#### ■第5 絵画

##### 1 目標

いろいろな表現形式による絵画表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。

## ■ 第6 版画

### 1 目標

いろいろな表現形式による版画表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。

## ■ 第7 彫刻

### 1 目標

いろいろな材料による彫刻など立体造形の表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。

## ■ 第8 ビジュアルデザイン

### 1 目標

視覚的な伝達効果を主とするデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。

## ■ 第9 クラフトデザイン

### 1 目標

美的造形性や機能性を主とする造形のデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。

## ■ 第10 情報メディアデザイン

### 1 目標

情報の表現，伝達及び共有を主とする情報メディアデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。

## ■ 第11 映像表現

### 1 目標

写真，ビデオ等の映像機器を使った表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。

## ■ 第12 環境造形

### 1 目標

自然や生活環境と造形との調和についての理解を深め、造形の諸要素を環境の構成に総合的に生かす実践的な能力と態度を育てる。

## ■ 第13 鑑賞研究

### 1 目標

文化財や美術作品，作家などについての鑑賞研究を通して、美術に対する理解を深め、美術や美術文化を尊重する態度を養い、批評する能力を育てる。